



# 鳥取こども学園 学園だより

第 4 号

平成10年12月1日

○発行

鳥取市立川町5丁目417番地

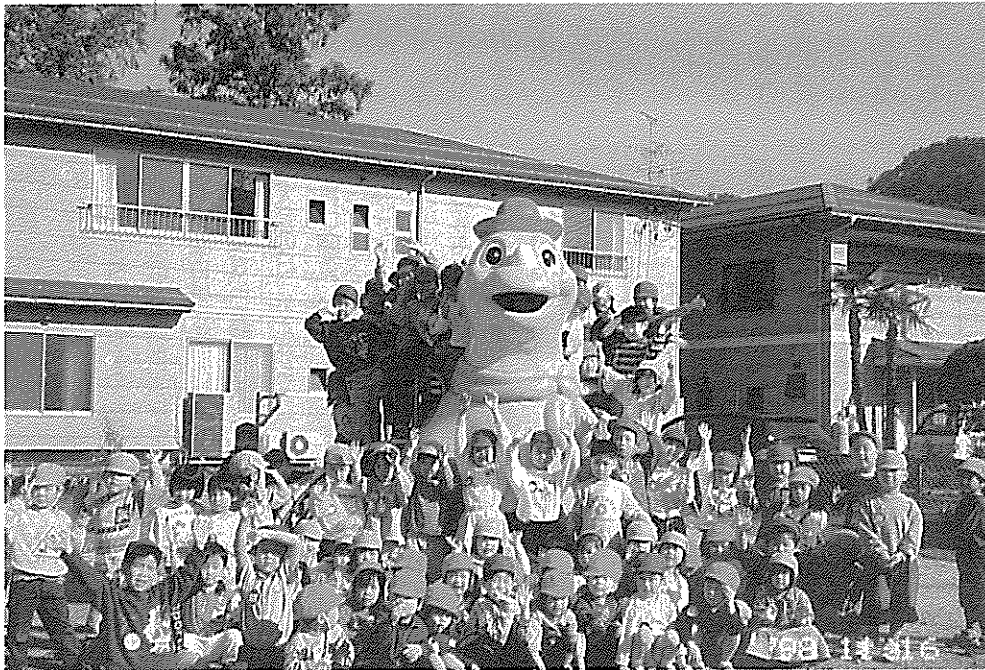
鳥取こども学園後援会

電話 (0857) 22-4206

○振込口座

郵便振替 01490-9-9106

題字 尾崎梯之助



## よるいびのむすぶれ

鳥取こども学園希望館

館長 松田章義

諸人ごぞりて むかえまつれ

久しく待ちにし 主は来ませり

主はきませり 主は 主はきませり

(讃美歌一一二)

今年も、イエス・キリストの誕生を  
みんなでお祝いするクリスマスが、や  
つてきました。

クリスマスは、偉人の特別な記念日  
でも、ただ、にぎやかに祝うお祭りで  
もありません。聖書に「神さまが、こ  
の世の人びとを救うために、その独り  
子をおつかわしになった」とあります。  
その人間の歴史を超えた神の御業を信じ、  
よきおとすれを共に喜び、感謝の祈り  
を捧げるときです。

この季節になると、懐かしく思い出  
すことがあります。四十数年前、こども  
学園のクリスマス祝会のサンタクロ  
ースになったとき。スズを鳴らしながら、  
大きな袋をかついで登場。「やあ、み  
んな元気か」「わーい」と、子ども  
たちのにぎやかな歓声。一人ひとりに  
小さなプレゼントを手渡していくと、  
みんな、満面笑み。口ぐちに「サンタ  
さん、どこからきただア」「ソリーに  
乗ってきてや」等々。モノクロのメル  
ヘンの世界は、いまでも素朴な喜びに  
満ち満ちています。

当時、子どもたちに配ったプレゼント  
トは、豪華なものではなかったと思ひ  
ます。しかし、心くだいた人びとの思  
いがこもっていたから、愛が伝わった。  
みんなに喜びが生まれたから、感謝の  
思いが共有できました。

願ひて、豊かさと力を誇ってきたわ  
が国は、今日、すべての面で混乱と崩  
壊がつづき、先行き不透明です。子ど  
もの問題は、ますます多様化と重症化  
が進み、大人の子どもへの対応も不適  
切なかかわりが広がっています。

また、この二十世紀。世界は、進歩  
と後退、建設と破壊、平和と戦争を繰  
り返し、人間の罪と悪がさを悔悟しつづ  
次の世紀への架け橋に立っています。

この世の闇路を 照らしたもう  
たえなる光の 主はきませり  
主はきませり 主は 主はきませり

神さまは、この暗闇の世界に光を照  
らし、救い主イエスをつかわして、病  
んでいる人を癒し、つますいている人  
を立ち直らせ、失意の人に希望と喜び  
を与えてくださいました。

マザー・テレサは「イエスは、人び  
とに仕えるために歩き回られた。わた  
しは、そのイエスにならう者として、  
いま、生きます」と日々祈り、弱い人  
と向き合い、抱きしめ、やすらぎに導  
きました。自らを献げつくし、この世  
に神の愛を証したその歩みは、わたし  
たちへの生きた道しるべです。

この年も、皆様からお心のこもった  
援助や奉仕をいただき、学園の子ども  
たちも心豊かに過ごすことができました。  
創設者・尾崎信太郎翁が苦難の中で「神  
の擁護摂理と人びとの支援ありて、今  
日に至れり」と捧げた感謝の祈りをも  
つて、お礼のごとばといたします。あ  
りがとうございました。

児童養護施設鳥取子ども学園



最近、幼児の入所が相次ぎ、現在、四十五名定員一杯で、十二名が幼児さんです。中庭ではにぎやかに、はしゃぎ遊びがやかな光景がよく見られます。

学園前には、桜並木、メタセコイアの並木、家庭舎の周りには銀杏・けやき・榎などの木がのびのびと成長しています。

皆様のご支援のもとに様々な行事も行われていますが、子どもたちの綴ったものを紹介します。

中国地区児童養護施設児童球技大会

高校一年 茂

僕は、この学園に十年間います。そして、毎年ある球技大会、特にソフトボールを楽しむにしています。

今年は今まで以上に練習をしました。

僕は最後の出場になるので、とても力が入ってみんなをリードする主将という重要な役になりました。時にはけんかをしたり、さぼったりしたこともありましたが、でも最後には、みんなで力を合わせて大会前日まで一生懸命練習しました。

大会の日、みんなで、「絶対に勝つぞ」と言い勝負しました。山口連合チームには負けました。でも、次のチームとの試合では同点で走者二、三塁で打者は打てそうになかったため、投手が捕手に返球する時、僕は去年の先輩がホームスチールをしたのを思い出し勝負にでました。ホームベースに着き審判が、「セーフ」と言った時、とてもうれしさが込み上げて叫んでいました。

この後の二日目の試合は負けただけ一勝できたことが、何よりもうれしかったです。みんなの力で勝った一勝は忘れられません。経験を積んで自分たちのチームが勝つてよかったです。

この十年間の球技大会で、いろいろなことがわかって、先輩にいろいろ教えてもらっていい球技大会でした。今度は、先輩にがんばってもらいたいです。

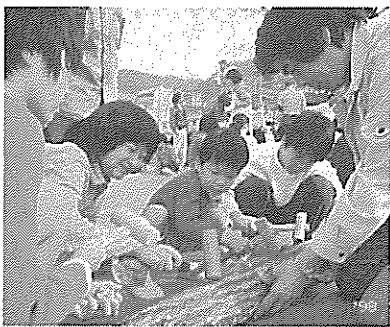
シイタケのきん植え

小学五年 舞子

十一月一日、ライオンズクラブの人たちとシイタケのきん植えをしました。や

る前はむずかしそうだと思っていたけど、やってみるとすごく簡単でした。木にたくさん穴を開けて、その中にシイタケのきんを植えました。木つちでぎりぎりまで打ちました。木が何本もあったので、手が疲れました。木に穴をあける機械でみんながしていたから、私もしたかったけど、中学生だけだったので残念でした。見ているとすごく簡単そうに感じました。私は、シイタケのきんを植えたことがないのでわからなかったけど、すごく変わった形の種だなあと思いました。

前も、ライオンズクラブの人たちともちつきなどとして、今度はシイタケのきん植えをしたので、ライオンズクラブの人は学園のみんなと楽しんだり、ふれ合うためにこんなにたくさん行事を考えているのだなあと思いました。今は、でき上がったのを黒いシートでカバーをしているからどうなっているのか様子が見えないから、でき上がってからどんなふうに見えるのか見てみたい



行事

〔学園関係〕

6月18日 バングラデシュからの青年2名が滞在(一週間)

21日 ちまき作り：鳥取中央ライオンズクラブ

23日 バングラデシュの青年の学園見学と希望館通所部門の生花教室への参加

24日 バングラデシュの青年との交流：お別れ会

7月23～25日 鳥取県児童養護施設合同キャンプ(蒙田山)

29～31日 全国情緒障害児短期治療施設職員研修会(鳥取市)

8月4日 鳥取県児童入所施設球技大会(鳥取市)

4～7日 全国児童養護施設高校生交流会(宮城県気仙沼市)

6～7日 希望館キャンプ(八束町・ふるさとの森)

14日 OBすきやき会

18～19日 里親キャンプ(西伯町・南さいはく自然休養村)

21～22日 中国地区児童養護施設児童球技大会(島根県大田市)

24～25日 高校生体験旅行①(1名)：アドベンチャーワールド

### 「情短施設鳥取子ども学園希望館」

今月号では、希望館で実際に過ごした子ども自身の声を、皆様にお届けいたします。

### 希望館を振り返って

小椋直美

私は全身に火傷をしています。希望館に入所するとき、すごく不安で、怖くてたまりませんでした。あえて、この施設に決めました。これから社会に出て行くんだから、人と普通に接することができようになければと思っただけです。

入所した当時は、部屋のベッドから出るのが怖くて、自分がどういふ風に見られているのか、同じような年の子が羨ましくてすごくつらかったことを覚えています。でも自分のしたことへの責任は後悔しても仕方ないことです。前向きにと思っただけでも、それを実行することがどうしてもできませんでした。時間がかりましたが、先生達のお陰で普通の生活ができるようになりました。入所中は先生にお世話になっていながら、生意気な口を利いたり、色々迷惑をかけたが、今思えば普通に接してもらいたかったんだと思います。可哀想だなんて思われたくなかったから……。

高校に編入し通わせてもらい、授業を受けるときも先生と一緒にでした。一生懸命していたから頑張ろうって思え

るようになりました。一人で通えるようになり、三年かけてようやく卒業できました。二十歳になり希望館を退所する時も、不安でたまりませんでした。大人の仲間入りをし、これからは自分の力で社会に出ていかなければと思いました。

退所してからも先生方にはお世話になっていますが、今はとても充実した毎日を送っています。結婚して子供もでき、毎日が楽しくて仕方ありません。私にもこういう生活ができるんだということが嬉しくもあります。二十二才になった今、子供と夫のために、これからは頑張って生きていこうって思います。

### 希望館の子どもたち

つらいことがあったからこそ、これからは幸せになろうと思います。その線り返して、人間は生きていくんだと思えます。生きていて良かったと思えるような人生をおくろうと思っています。

本当に先生方には色々お世話になり、周りのみんながいてくれたからこそ今の私があるんだと思います。今のこの生活を一日一日大事にして、これからももっともつと幸せになります。「人生楽ありや苦あり」です。これからはがんばります。私を必要としている人が一人でもいる限り……。希望館に入れて良かった。本当にありがとうございます。

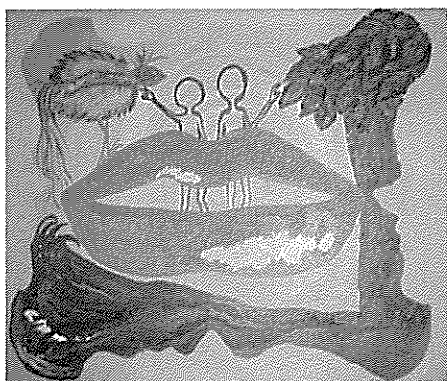
### 生きる

上川 瞳

やっと  
気が付いた  
自分には  
とてもすばらしい力が  
あるということに

それは  
生きるという力  
今まで気が付かなかった  
自分には力が  
あるということに

もつと  
早く気付くへきだった  
これからは  
生きる力を持って  
力いっぱい生きていくんだ



「未来」油絵  
A.I 中3

- 30日 マスクミュージカル「がちがち山」招待(鳥取市民会館)  
：劇団飛行船
- 9月21日 吉本女子プロレス招待(鳥取産業体育館)：吉本女子プロレス
- 26～29日 高校生体験旅行②(2名)  
：東京都内見物
- 10月7日 明治生命ミュージカル「麗しのサブリナ」招待(鳥取市民会館)
- 14日 四施設合同防災訓練
- 15日 希望館通所部門・ミニミニ運動会
- 24～25日 里親月間・一日里親
- 11月1日 シイタケ菌の植えつけ：鳥取中央ライオンズクラブ
- 2日 希望館通所部門・秋の遠足(岩美町網代)
- 11日 県民ふれあい交流会(鳥取県民文化会館)
- 15日 鳥取シンフォニック・ウインズ定期演奏会招待(鳥取県民文化会館)
- 16日 FMWプロレス招待(鳥取産業体育館)
- 23日 第31回ミュージックフェスティバル：鳥取学生赤十字奉仕団児童ふれあいのつどい(しらはま交流センター)
- 28日

### 保育所「鳥取みどり園」

#### 共に育つ

園長 入江一枝

毎日保育園では、子ども達の明るく元気な歓声がこだましています。砂あそびや追いかけっこ、なわあそびなど友だちと一緒に一心不乱に遊んでいる姿は生き生きとしています。運動会で精いっぱいエネルギーを注いだ子ども達は、各方面に意欲的となり、心身共に大きく、たくましくなりました。

四月の入園式、七月のプールあそび、八月の納涼祭、九月の運動会、十月のいも掘りなど子ども達は、園生活の中だけでも実に様々な経験をしています。

私たち大人が、小さな事と片づけてしまふ事でも、幼い心に印象づけたいとい

#### おじいさん、おばあさんとの交流保育

—そば作り体験を通して—

保母 田淵陽子

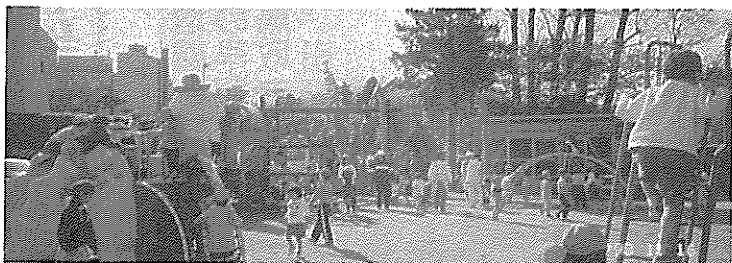
当園では、毎年九月に「祖父母とのふれあいの集い」をもっています。今年も新しい試みとして「そば作りを体験しよう」を企画しました。さわやかな秋を感じる九月十日、園児の祖父母また、地域の老人会の方々にも参加して頂き、年長児と共に鹿野の「そば道場」を訪れました。どんな風に作るのだろうと期待がいっぱいの子ども達、一方参加された方々は初めての方も多く、道場の方の指導を受けながら、粉を混ぜる、こねる、延ばす、切るなどの作業を子ども達と一緒に楽しんでおられ

#### ミニ遊園地の整備事業と家庭舎の改修工事が進められています。

今年度の環境整備事業として、約三百万円の事業費で、鳥取みどり園のミニ遊園地整備事業が現在進められています。学園OBの勤労奉仕で創立九十周年の時に整備していただいたものに新しい遊具や兔やにわりの飼育小屋等を加えて、大々的に整備し直すこととしたものです。

(写真参照)

更に、約一千万円の事業費で、鳥取子ども学園の、築後三十七年



へりでもあつてです。

考える力は、まず見たり感じたりすることから始まると思います。直接体験が乏しくなってきた現代、子ども達には意図的に直接身体で感じる体験を、日々取り組んでおります。幸い、四季の変化を感じられる我が園では、ハツタ、カマキリなどの生き物を見つれたり、草花に触れたりして、自然に親しむ機会も多く、直接身体で感じる体験が出来る環境にあるように思います。

私たち保育者が心がけなければならぬ事は、その子その子をしっかり受けとめ、保育の言動がどれほど子どもに大きく影響を及ぼしているかを理解し、保育園での育ちを常に意識しながら接することが大切ではないかと思えます。

二十一世紀を担う子ども達。豊かな心をしっかりと伸ばして欲しいと願い、そして彼らと共に成長し続けたい...

ました。自分たちで作ったそばのおいしさは最高！お腹も気持ちも満たされた秋の一日でした。



経った「家庭舎」の改修工事が進められています。鳥取県の補助金七十四万円をいただき、食堂部分の一部増築や屋根の葺き替えなどの工事が年内完成の予定で進められています。子どもたちも工事中の不便を我慢して「僕達・私たちの家」の完成を楽しみに待っています。工事を請け負っていただいた竹中工務店さん、子どもたちにもせがまねながら一生懸命頑張ってくださっています。

皆様のご支援に心より感謝申し上げます。

#### 全国情報施設職員研修会

##### 鳥取で盛大に開催

全国の情報障害児短期治療施設の職員研修会が、今年の七月二十九〜三十一日、鳥取子ども学園希望館の担当で、二六〇名が参加し、盛大に開催された。

初日、開会式では、全国情報施設協議会の松田章義会長(希陽館館長)が挨拶し、「改正された児童福祉法の施行初年度の意義」を強調した。パネル討議では藤野

これからも、地域の皆さんに愛され、信頼されるよう努めてまいりたいと思っておりますので、「ご指導」「ご支援下さいますようお願いいたします」。



#### 子育て支援センター

##### 子育てに喜びや楽しみを...

指導員 竹内則子

子育て支援センターが開設されて一年半がたち、訪れる方も増えてきました。子ども達は、「○○ちゃん来てる?」と友達と一緒に遊べるのを楽しみにしています。お母さん達も月に二回の親子教室、育児講座などを楽しみにして下さっています。「手作りおやつ」の育児講座では、お母さん達が楽しみながら作った愛情いっぱいのおやつを口いっぱいほおばる子ども達のうれしそうなお顔、お母さんも満足そうでした。これからも、子ども達の笑顔がたくさん見られ、お母さん達の心の基地、情報交換の場となり、子育てに喜びや楽しさを感じていただけるように努めていきたいと思えます。

第一園長もパネリストとして参加し、「各児童福祉施設間の連携の強化」を訴えた。第二日の施設長協議会では、厚生省への要望事項を決定。分科会も内容が充実し、全国大会として多大の成果をあげることができたと、参加者から高い評価をいただいた。

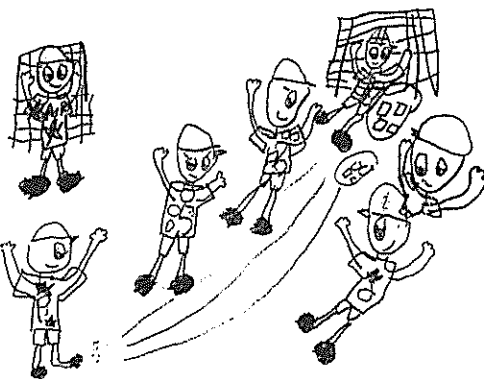
三日目、会の終了後、鳥取子ども学園に多くの施設見学者があり、「心温かい施設ですね」と好評をいただいた。学園職員全員の一致協力の運営で無事終了し、感謝であった。

#### 鳥取子ども学園同窓会のご案内

旧職員・OBの皆さん  
かつて同じ釜の飯を喰った仲間会いたくなったり、消息を知りたかったりするものです。盆と正月くらい故郷で会えればよいと思います。  
そこで、毎年、盆の八月十四日と正月の二月二日の夕方六時から、同窓会を行うこととしております。  
学園の地域交流ホームで懐かしい顔に会えます。お気軽にご参加下さい。

#### 「みどり園関係」

- 6月4日 子育て支援センター「育児講座」講師 今田歯科医院院長 今田哲哉
- 7日 鳥取市保育所児童文化祭
- 20日 参観日(座談会)
- 7月1日 JR七夕まつり(年長児参加)
- 8日 交通安全教室(保護者会主催)
- 14日 プール開き
- 19日 私立保育園保護者会連合同行事 (於安蔵公園)
- 22日 卒園生のごとく(参加者100名)
- 23~24日 個別懇談会
- 8月1日 納涼祭(保護者会主催)
- 2日 仕事会(保護者会主催)
- 19日 星を見る会(子ども園、年長児)
- 25日 プール納め
- 9月10日 おじいちゃん、おばあちゃんとのふれあいのつどい(鹿野そば道場)
- 15日 修立地区敬老会アトラクションに年長児が出演
- 27日 運動会



10月21日 鳥取東高1年生で保母、保父になりたい人：現地研修のため15名来園

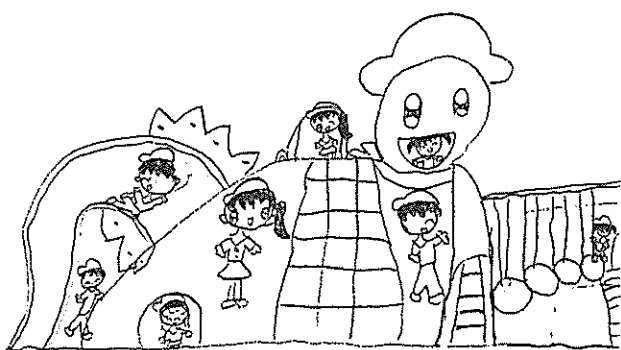
29日 親子遠足(砂丘)子どもの園(10月31~11月1日) 修立地区文化祭(修立地区の年中長児18名描画出品する)

10月26日~11月2日 保育実習(鳥取東高2年生全員397名)

11日 特別養護老人ホーム白兔あすなろ訪問(年長児)

19日 感謝祭

26日 子育て支援センター「育児講座」講師 西山見和子





# 自立援助ホーム「鳥取フレンド」

補助金の増額と補助金交付時期の早期化を、鳥取県と鳥取市に要望しました。引き続きご支援を

「自立援助ホーム」は、従来、法外施設でしたが、この度の改正児童福祉法において、「児童自立生活援助事業」として明記され、都道府県・政令指定都市が、新たに実施主体となりました。しかし、年間補助金は、三六三万円(国、県とも二分の一負担)とされ、一人分の人件費にも及ばないのが実状です。その上、その補助金も年度末にしか支出されず、その運営は困難を極めています。

現在、全国に十八ホームしかない自立援助ホームの内、東京都(六ホーム)、横浜市、名古屋市、京都市、石川市、沖縄県(各一ホーム)などほとんどのホームが地方自治体独自に、人件費二〜三入分の補助金を上乗せして実施していることからしても、鳥取県と鳥取市に補助金の増額と交付時期を年度前半にしていたべくようお願いしています。

しかし、当分の間は、「鳥取こども学園後援会」などの寄付金とボランティアに頼る以外にはありません。皆様の一層のご支援をお願い申し上げます。

## 「自立援助ホーム 鳥取フレンド」へ 法務大臣から感謝状

— 山中夫妻の労をねぎらいたい —

去る十一月十日、鳥取保護観察所を通じて、「法務大臣からの感謝状」が、山中夫妻に手渡されました。感謝です。

昭和六十二年から十二年間にわたりボランティア精神で頑張っていたという山中夫妻のご苦勞を、心よりねぎらいたいと思います。

## 子どもたちの自立を願って

寮母 山中友子

滝山寮から新しい建物に移って、早いもので三年目を迎えています。今年の四月から、現場に係わる職員が、私たち夫婦と夕食作りをしてくれるパートの方と住み込みボランティアの方となりました。寮生の数を六人までに抑えて、アパート等に出してからのフォローをすること

自立援助ホーム「鳥取フレンド」入退所状況

H.9	H.10												
	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月
前年・A:20才	金銭トラブルで住込先を首年なり再入所・母親宅へ・飲食業												
前年・B:19才	アパートへ・石工 → 建設業												
前年・C:20才	アパートへ・植木屋												
前年・D:20才	アパートへ・建設業 → 職を転々としている												
前年・E:18才	アパートへ・店員												
前年・F:20才	寮へ・木工業												
前年・G:19才	住込先へ・事務員												
前年・H:20才	寮のアパートへ・建設業 → 職を転々												
前年・I:18才	アパートへ・建設業												
前年・J:20才	建設業 → 東京の自立援助ホームへ・サービス業												
前年・K:17才	アパートへ・建設業												
前年・L:19才	(木工関係)												
前年・M:18才	木工関係退職・家庭へ												
前年・N:18才	アパートへ・建設関係												
前年・O:18才	兄のアパートへ・サービス業												
前年・P:20才	家庭へ												
前年・Q:16才	アパートへ・弱電関係												
前年・R:16才	アパートへ・弱電関係												
前年・S:17才	建設関係・少年院へ												
前年・T:19才	飲食関係・パチンコ店へ住込												
前年・U:16才	(食堂店員)												
前年・V:19才	(建設関係)												
前年・W:19才	ウエートレス・家庭へ												
前年・X:18才	(建設関係)												
前年・Y:15才	(食堂店員)												
前年・Z:15才	(食堂店員)												
前年・AA:16才	(食堂店員)												
前年・AB:16才	(食堂店員)												
前年・AC:16才	(食堂店員)												
前年・AD:16才	(食堂店員)												
前年・AE:16才	(食堂店員)												
前年・AF:16才	(食堂店員)												
前年・AG:21才	(食堂店員)												

としていますが、すぐに六人を超えてしまいます。アパート自立した子どもばかり奔走する時もあり、見通しの立たない生活を送っています。

現在、在籍は十二名で女子二人と男子四人が私たち家族と一緒に生活しています。女子二人はサービス業についていて二人が対照的な面はあるが、何とか仕事には出ています。男子の中には家裁の試験観

察委託で受けている子どもが三人います。生活の拠点を鳥取フレンドに置くところからそれぞれの目標に近づきように働きかけています。

ここでは、一、寮費を払うこと。二、計画的にお金を使うこと。三、自分のこ

とは自分でし、他人に迷惑をかけること。の三つの約束事があります。少年院等の施設とは違い、個々のおもいようでも自立に近づける場だと思っています。強制や管理では自立につながりません。出来るだけ自発的に生活出来るようにすることが私たちの役割だと思っています。

日々の生活は、具体的出来事の繰り返りで、かわり合う私たちにしても感情が安定している時もある不安定なときもありです。やはりその日その時に出来ることをしていく積み重ねが大切なことだと思えます。今後いろいろな人の忠告

に耳を傾けながらこの共同生活を続けていこうと思っています。



物品寄付者(1998.6.1~1998.11.30)

(敬称略)

氏 名	氏 名	氏 名	氏 名
乾 博 登	杉 谷 幸 治	鳥取中央ライオンズクラブ	森 下 雅 子
猪 口 吉 野	杉 谷 静 子	中 川 み か	山丘建設(有)山本憲治
海 藤 ひろみ	谷 詰 万 寿子	仁 木 義 元	山 田 瑤 子
木 島 正 二	田 村 みつ子	日本海リッチランド	山 根 青 果
高 地 治 栄	田 村 教 材 店	ハッピーベーカリー(有)	山 本 秀 樹
小 橋 義 次	大雲員子供会一同	原 田 幸 義	横 山 純 一
沢 田 辰 子	大 樹 寺	久 本 薫	吉 川 電 機
塩 秋 雄	トスク本店タカラブネ山中徳正	広 富 悦 子	若桜地区更正保護婦人会
資生堂社会福祉事業財団	鳥取ヤクルト販売	福 永 裕 子	若 林 健
修立地区老人クラブ連合会	鳥取県味噌醤油工業協同組合	村 田 志 津子	無 名 氏

感謝!おかげ様で、子どもたちのホームにエアコンが整備出来ました。

今年の夏は、異常に暑く、幼い子どもたちの汗疹もひどく、見るに忍びない状況でした。エアコンのある事務所2階の会議室には、「勉強するから」といって、子どもたちが群がっていました。

丁度、そんな時、事務所と2階の会議室のエアコンが、寿命で壊れてしまい、「大人がエアコンを使っているのに子どもの生活の場にエアコンが無いのはおかしい」ということで、せめて、各ホームの食堂

にもエアコンを整備しようということになりました。

日頃からご支援いただいている鳥取三洋電機労働組合の大木戸委員長にお願いし、計13台のエアコンを急遽、極安で整備していただくことになりました。費用は、施設の修繕費から941,220円、後援会から2,024,810円で賄うこととしました。皆様のおかげでこの夏の猛暑を凌ぐことができたことをご報告し、心よりお礼を申し上げます。

「鳥取子ども学園後援会」加入と1998年度会費納入のお願い

——1万口の後援会の組織化にご協力下さい——

鳥取子ども学園の事業は、言うまでもなく「民間社会事業」です。「国の制度」に載っている事業だけを「制度」の枠内に限ってやるのであれば、「民間社会事業」の意味は半減します。

創立当初の困難を想い、民間社会事業の先駆性・献身性を受け継ぎたいと思います。本物の事業をなそうとすれば、熱い祈りと有為な人材と多くのお金が必要です。公的な制度と資金だけでは到底足りません。

「鳥取子ども学園後援会」加入と会費納入・寄付を下

記のとおりよろしく申し上げます。

記

- 1 「鳥取子ども学園後援会」へご入会下さり、年会費を納入ください。
- 2 地域、職域で出来るだけ友人・知人に入会を呼びかけて下さい。
- 3 個人でも、団体でも、会社や法人でも加入出来ます。
- 4 年会費は、個人1口3,000円、団体・法人1口10,000円で、1口以上何口でも結構です。

会費・寄付金は下記へ

鳥取子ども学園後援会事務局：〒680-0061 鳥取市立川町5-417 鳥取子ども学園内

☎ (0857) 22-4206・21-9551 FAX 23-0242

振込み口座名義：社会福祉法人鳥取子ども学園 理事長 尾崎良一

振込み口座：郵便振替 01490-9-9106

山陰合同銀行鳥取東支店 普通 2124157

鳥取銀行本店 普通 7645611